

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7回相模原市行政区画等審議会		
事務局 (担当課)		企画部政令指定都市推進課 電話042-769-8248(直通)		
開催日時		平成21年1月26日(月) 午後7時～午後9時40分		
開催場所		市役所第2別館3階 第3委員会室		
出席者	委員	17人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	7人(企画財政局長、政令指定都市担当部長、 政令指定都市推進課長、課長代理、担当主幹、 市民活力推進部長、次長)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 報告事項 3 議題 行政区の名称(区名)について (1) 区名意向調査の結果について (2) 答申書(区名)について 4 その他 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

1 開会

会長の司会のもと、開会を宣言するとともに、委員の出欠状況の報告がされた。

2 報告事項

事務局より、資料1に基づき、前回の審議会の経過が報告された。

3 議題（○委員の発言、□会長の発言、△副会長の発言、●事務局の発言）

会長の進行により、議事に入った。

事務局より、資料2に基づいて、区名意向調査の結果について説明がされた後、審議に入った。

□ これから、区名意向調査の結果を重要な資料として区名の審議を行うものである。

はじめに欠席の委員からご意見をいただいている。「A区は、漢字の緑区、B区は漢字の桜区、C区は光区を支持します。」という意見をいただいた。

○ 確認だが、既存の施設は、区名が変わったら、名前も変わるのか。

● 既存の施設については、変更する必然性がなければそのまま使用する。今後設置されるものについては、区名を参考にすることも可能性としてあると考える。

○ 意向調査の結果は、A区、B区、C区とも応募総数では大差なかったと思う。

A区については、次の理由で「緑区」を推す。

①「北区」は最多得票だが、イメージはどうか。

②将来へのイメージという点で優れている。

③市民全体は「北区」を支持しているが、橋本の市民には「北」の位置付けが納得できない人がいるのではないか。

④公共施設等の名前で「北」を使っているところが多いので、区の名前としてつける事には抵抗があるのではないか。

⑤「緑区」と「みどり区」は、イメージは同じである。数も拮抗しており、漢字でもかなでもよいと考える人が多いのではないか。

このため、A区「緑区」 B区「中央区」 C区「南区」を支持する。

- 「北」のイメージの話があったが、他の政令指定都市では、多く使われている。個々の個人感情は一部あるとしても、全体を見るときには、意向調査の結果は大いに尊重すべき。
- 地域協議会でも議論になった。区名案募集、意向調査と2回行い、2回とも「北区」、「中央区」、「南区」が1位になっている。それを変えるならどのような理由になるのかとの話になった。「緑区」と「みどり区」を足すと、1位の「北区」よりも多いので、この理由付けではどうかという意見も聞かれた。協議会では意向調査の結果を尊重すべきという意見が強かった。
- 区名案募集と区名意向調査の2回の調査を行っており、結果を尊重すべき。A区、B区について、かなか漢字かはどうするのか、また合算して1位になる候補についてどうするのか。A区で1位の「北区」に対し、合算するとこれを超える「緑区」、「みどり区」をどう考えるのかが気になるところ。
- 「緑区」、「みどり区」は、合わせると一番多い。かなか漢字かはたまたま分かれているだけのように思う。横浜市にもあるからという点はあるかもしれないが、豊かな自然に恵まれている地域であり良いと思うが、かなではなく漢字の「緑区」を支持する。B区は、今後発展するイメージもあり「中央区」がよい。C区は悩みどころだが、地域の方の「南区」の意向が強く、この意向に従うのが良いと思う。
- これからの行政運営を考えていく上で、市としてこういう名称がよいという考えがあるのか聞きたい。
- 区名は住所に追加されるものである。これまでの審議会でも審議され、参考資料1にも載っているように、簡潔であるもの、地域特性、区の特徴などの観点で決定されるべきと考える。区ごとの5つの候補についてはどれもこのような要素を持っていると思うが、市としてどれが良いという考えは持っていない。審議会でも審議、決定いただくべきものと考えている。

- 議論の筋を確認したいと思う。これまでの審議において意向調査の結果は、重要な資料として、審議会の見識で決定することを確認している。市民の皆様に説明できる理由をどう立てるか、きちんと整理しておく必要がある。いろんなご意見があるが、端的に意向調査の結果だけをみるならば、「北区」、「中央区」、「南区」であるが、「緑区」と「みどり区」や「桜区」と「さくら区」を足すと1位の応募数を超える。数を合算した場合の優位性を採るのか採らないのか。かなか漢字かどう考えるのか。津久井地域で言うと、「みどり区」の支持が1位。C区については、「南区」が数的に上回るものはない状況である。そのような理由を整え、どのように説明していくのかどうかについても議論もいただきたい。
- かなか漢字の議論があるが、かなは住所には向かないと思う。「緑区」は漢字にすべき。産業界からの意見として申し上げる。
- 漢字を支持する。「南区」、「中央区」となると、流れとしては「北区」が良い。「緑区」になるなら漢字を支持する。
- キャンペーンに出てみたり、団体とか、周囲の人等に聞いてみたりした。女性の視点から言うと、かなの支持が多いと思っていたが、意外にそうではなかった。漢字離れという時代の中で、漢字の住所に誇りを持って書くほうが良いという意見をいただいた。C区については、意向調査では低いですが、個人的には「光区」を推す。
- 意向調査では、A区での「緑区」と「みどり区」の応募数はおおむね同じくらいの数であるが、B区においては、かなの「さくら区」が、漢字の「桜区」の倍以上の支持がある。この結果についての1つの見方として考えられるのは、B区の方は、かなの候補としての「さくら区」への志向が強かったのではないかと感じる。
- 意向調査の結果は尊重すべき。全体のバランスを意識して投票されたのではないかと感じる。津久井地域では「緑区」もあるかもしれないが、市内でのバランスでいうと違うと思う。
- △ 「北区」は、イメージがどうかということで嫌だという意見があるが、嫌だと思える人がいることが問題ではないか。一方、「緑区」が嫌だとい

う意見はあるか。嫌だと思ふ人がいないことは、皆で共通の事項を決定するときには重要な要素である。

- 橋本に住んでいるが、津久井地域も考慮すると、「緑区」が良い。「緑区」と「みどり区」について、足して考えてよいと思う。漢字を支持する。
- B区の「さくら区」と「桜区」についても、桜まつりがあったり、市役所前の通りに桜があるという地域性があり、かな、漢字問わず、桜のイメージで意向調査に応募したのではないかと考える。
- A区は、水源地ということも考えると、それにふさわしい名前を考えることが大切。候補の中では「緑区」だと思う。「北区」というあじけない名前よりも夢がある。市の中心の桜というイメージは市民の多くの方が持っていらっしゃると思う。B区は夢を語る意味で、「桜区」だと思う。かなか漢字かについては、横浜市の緑区との兼ね合いもあり、かながよい。「みどり区」、「さくら区」を支持する。
- 今までの議論を整理すると、
A区は、意向調査で1位になったことを尊重して「北区」という意見、また、地域特性やイメージから「緑区」を選定する案、この場合、漢字の「緑区」が多いという状況である。
B区は、「中央区」の意見が多い中で、区のイメージから「さくら区」、「桜区」を推す意見、この場合には漢字、かなの応募数を足すと1位よりも多いということ意識した意見である。
C区は、「南区」が圧倒的な中で、「光区」という意見もある。
比較のご意見が散らばっていないC区の方から確定するのが良いかと思うがどうか。
- C区については、個人的には「光区」を支持するものの、理由付けが難しい。委員の好みで決めるわけには行かないため、「南区」が妥当。
- 最後に確認するが、今の段階では、C区は、「南区」が有力か。
- 青年会議所や周囲の人にも意見を聞いてみたが、C区については、積極的な意見を言う人が少なかったが、その中でも夢や将来性がある「光区」が良いという意見があった。

- △ 他の区がその区のイメージで選ぶなら、「光区」が他とのバランスで選定される可能性はある。可能性のあることは留保してよいのでは。
- 候補について否定的に言うわけではないが、もし「光区」を選定する場合には、居住者で4位、全体で5位の候補を上を持ってくることになるため、審議会としての合理的な説明が必要になる。
- △ もし、A区やB区が意向調査の応募数以外の他の要素で決まるのであれば、それに合わせるという考え方もある。そうしろということではなく、そういう考え方もあるということである。
- これまで「北区」、「中央区」、「南区」を支持しているが、「光区」も、これから新しい市になっていくという意味では、方位ではなく「光」という字は人々に勇気を与える。将来に向けた地名としては、誇りに思える区名だと思うので、こちらも推薦できる。
- これまで理由付けは難しいと考えていたが、漢字1文字でありながら、区の特徴を表した「緑区」、「桜区」、「光区」を支持する。
- その場合、例えばC区で言えば、2位の「あじさい区」を押しつける理由付けはどのように考えるか。
- あくまで漢字の候補を採用すべき。かなでは文字数が長くなる。漢字表記が基本。
- 「光区」と関連する地名について確認しておきたい。B区に「光が丘」という地名はあるが、別の整理ということではよいですね。
- バランスや関連性の問題など、十人十色の意見があると思う。委員で投票してみたらどうか。
- 多数決を採るのは簡単だが、もう少し議論を尽くしたほうがよい。
- 意向調査の応募は、セットで投票している人が多いとうかがえる。「北区」、「中央区」、「南区」を見ると数がばらけてない。「けやき区」、「さ

くら区」、「あじさい区」もセットで数が揃っている。かなについては各区2つの候補があるが、C区では「あじさい区」に支持がよっており、B区では「ひばり区」より「さくら区」も支持がよっている。「緑区」、「桜区」、「光区」もセットで応募されたのかなと思う。A区が「緑区」、B区が「桜区」でC区だけ「南区」となるのでは、意向調査の結果からちょっと外れるのかと思う。

- C区は、「南区」に1万2千もの応募が集まっている。この中で「光区」については、きちっと理由付けができるのならば良いと思う。意向調査の結果では最下位のものを選ぶことになるので、委員合意の上での理由付けが必要となる。個人的に推したい部分はある。
- 多数決にするにしても区ごとに行うのか、セットで行うのかの議論はあるが、もう少し議論を尽くしたい。A区は、「緑区」について否定的な意見がない中で、「北区」には否定的な意見もある。「緑区」については、かなと漢字を足し上げると1位になるし、この地域をイメージすることができるという意見が多数を占めている。「北区」が良いという意見についてはどうか。
- 易しく、覚えやすいという点で「北区」がよい。
- 「北区」、「中央区」、「南区」が良いと最初に良いと言ったが、これは2度の調査で1位になったからである。C区は、最下位の「光区」を上を持ってくるのは難しい。「緑区」については、「みどり区」と足せば1位になるので、理由は立つと思う。「さくら区」、「桜区」も同様である。バランスを重視するならば、「緑区」、「桜区」、「光区」は妥当かとも思う。
- 津久井地域の応募数をみると、「みどり区」が多いが、市全体の総数では漢字の「緑区」が多いということで、漢字の選択をするということはあると思う。
- 旧相模原市では「北区」への支持が多い。
- 旧相模原市でも「緑区」と「みどり区」を足すと、35%程度の支持があり、「北区」を超えますね。

- 既存の公共施設の名称には、北を使っているものが多い。南の地域でも同様。生活の中で関わりがあるから「北区」の支持が多かったのではないか。
- 単純に意向調査で応募数が多かった順でいいのではないかと思う。
- 意向調査の結果を尊重すべき。3区でバランスを見ながら検討していくべき。
- 住んでおられる方の応募数をみると、C区以外は微妙な結果である。バランスも必要だが、住んでいる人の意見をどう反映するかも考慮する必要がある。
- 会長の立場として難しいのは、意見分布で言うと、有力な案はあるが、委員の合意が見られなければ、採決を行うしかない。現在の傾向としては、A区は、漢字の「緑区」が多く、「北区」の意見もある。C区は「南区」が多い中で「光区」という意見もある。B区は「中央区」という意見が多い中で「桜区」という意見もある。
少し決め方についてのご意見もいただきたい。もう少し議論し、全会一致で決定するか、採決を行うのかを決めたい。採決を行う場合、記名にするかどうかの選択を行う。
- B区の桜は、地域の一部ではないかと思う。全国の方から見られた場合でも、相模原の中央にあるということがわかりやすい。相模原市の「中央区」といえば、相模原市の中央部にあるとわかりやすい。区名は住所になるのでこだわるが、かなは使わないで欲しい。必ずしもバランスは絶対ではない。桜は全国にあるわけで、特に相模原市だけに桜があるわけではない。
- 意向調査の結果で1位の「北区」、「中央区」、「南区」が基本だと思う。「桜区」については、B区全体がそうなのかが疑問。C区の「光区」はちょっと作りすぎかなという感じもする。委員の間でその辺の違和感がないということであればよいと思う。A区の「緑区」という案はよくわかる。

- B区の桜のイメージについてはどうか。
- 相模原市のA区、B区、C区と言うときのイメージ的なものが大事。桜まつりもあるし、中央地区の桜のイメージで、B区は「桜区」がよいという意見を申し上げた。
- 応募の割合で言うと、「さくら区」と「桜区」は足すと38.5%で、「緑区」と「みどり区」は34.5%となっている。このため、A区は「緑区」の場合でB区は「中央区」、A区は「北区」の場合でB区は「桜区」とは付けることはどうか。さきほど委員から意見があったように、「さくら区」は、かなの1つの候補として支持されたと見て、漢字の桜区とかなの「さくら区」は別案とみる意見はあったが、ご意見をいただきたい。
- 10、20、50年先を考えたら、長年経っても支障がない名前が良い。「北区」、「中央区」、「南区」が無難ではないか。なかなかの候補もこれという理由が難しい中では意向調査で出てきた数字を尊重すべき。
- 決め方について議論をしたいと思う。事務局に確認するが、ここで投票、採決を取ることは可能か。
- 可能である。
- 単に審議会での多数決でこうなったというだけの理屈では決めがたい。採決を行う場合でも、決定する理由についても確認した上で、最終的な結論を得るべきと考える。審議会としての決定に当たり、採決をとることについてはどうか。取って構わない場合には、記名式でやるべきか無記名でやるべきかを伺いたい。
- 採決はいかがかと思う。すでに意向調査で数字は出ている。全会一致でやるべきである。
- 意向調査の結果は出ており、この1位を尊重してもよいと思う。
- △ 時間を切って、それまでに決まらない場合に採決をすることはどうか。

- 意向調査を受けて、なぜその区名になったかの理由付けが一番重要。A区は、「緑区」と「みどり区」が同じイメージで出されたため、「北区」を上回る数になるという理由で採用する。B区、C区は意向調査での1位を採用することが、一番説明がつくのではないか。
- 今の意見について、A区は、「緑区」、「みどり区」を足すけれども、B区については「さくら区」、「桜区」を足さないということについてはどのような説明になるか。
- B区の「さくら区」と「桜区」については、他の委員から意見があったようにそれらは別物で、それぞれの候補に応募が集まったとみることができるのではないか。
- これまで合算の議論がある。「緑区」と「みどり区」、「桜区」と「さくら区」、そして「中央区」と「中区」もかなりイメージが近いと見ることができる。この辺も参考に申し上げる。
- 候補ごとの応募数を足すことは、別にした方がよい。話が進まないのではないか。
- 1つの考え方として、「緑区」と「みどり区」は同じ意識で応募したのではないか、「さくら区」と「桜区」、「中央区」と「中区」も同様である。こういう風に考えると、一定の結論がでてくるという理屈付けですね。
- 足すことは全然考えていなかった。
- △ 単に意向調査での順位だけを持って決定するならば、極端なことを言うなら、この審議会は不要になってしまう。別の観点からの検討も踏まえた上で、大所高所からの決定をすべき。
- まとめますと、1つの意見は、A区は、「緑区」、「みどり区」へは同じようなイメージで応募されたのではないかという中で、総数で上位の「緑区」を選択、B区は「中央区」、「中区」も同じような意識での支持が多い中で、上位の「中央区」を選択、C区については圧倒的な応募数

である「南区」を採用する案。

それからもう1つは、A区は「緑区」を選択し、B区は、他区との「兼ね合いで漢字の「桜区」を選択、C区は「南区」あるいは「光区」という3つくらいの案になっている。

- 意向調査の結果が、「北区」、「中央区」、「南区」になったことについては、愕然としているが、3区の組み合わせで多かったものという資料はないと思うがどうか。
- そのような集計はしていない。
- 選んだ皆さんは、セットのイメージで選んでいるのではないかと思うため、セットで考えて一番支持の多いものは何だったかと考えるが、なかなか意見がまとまらない。
- さきほども話があったように、単純に数が多かったものを採用するだけであれば、そのように決めておけばよかっただけのことである。前回の会議録を参照いただければわかるが、そうではないという確認をこの審議会で行っている。数が多いから選定するのではなく、重要な資料とした上で審議会で決めるということになっている。数が多いからというだけの議論でなくてよい。
- 既存の公共施設の名前では、北や西が使われており、区名にも影響してくると考える。「北区」と「西区」はほぼ同じ気持ちで応募されていると思う。「中央区」と「中区」、「南区」と「東区」は関連があると思う。
- 今の意見を補強していただけるならお願いしたいが、ちょっと危惧する点としては、「緑」と「みどり」、「桜」と「さくら」、「中央」と「中」は同じイメージだと思うが、「北」と「西」、「南」と「東」は違う方向ですね。これを足して考えてよいかについては、補強をいただきたい。
- 橋本は北で津久井は西になるのかなと思う。方位で選んでいるという考え方であり、意味合いは同じではないか。
- 同じ区の人で、北だと思っている人と、西だと思っている人がいるという分裂がある中で、数を足すことはいかがかと思う。これを足すには補

強できる理論がないと。もしあれば有力な意見になると思う。

- 環境共生という点からも「緑区」はよいのではないか。
- 地球規模の環境問題がある中で、「緑区」という理由付けもあると考える。
- 意向調査の結果を尊重すべき。かなと漢字とでは意味合いが違うと思う。かなは、やさしい感じなどがあり志向されているのであり、足してという議論はおかしいのではないか。
- イメージで言えば、「緑」と「みどり」、「桜」と「さくら」は同じで、字については、1文字がよいとか、好みの問題ではないか。感覚的にはこれらの数を足すことについて、それほど違和感はない。
- 皆様のご意見では、多数決ではなく、前回一致を目指したいという意見が有力ではあるが、結論を得るには歩み寄りが必要な状況である。再度整理するが、意見を集約すると、
 - ①「北区」、「中央区」、「南区」
 - ②「緑区」、「桜区」、「南区」
 - ③「緑区」、「中央区」、「南区」
 - ④「緑区」、「桜区」、「光区」となっている。
採決をするには、これらの中でさらに詰めていく必要がある。
この整理を踏まえて歩み寄りの要素はあるかどうか。その後採決するかの判断をしたい。
- B区については、「中央区」と「桜区」の支持があったが、「中央区」と「中区」を足すと1万8千の応募であり、「さくら区」と「桜区」の数を足した数を超えている。B区についての意見はどうか。
- 「北区」、「中央区」、「南区」の案は、相模原市の地形を見ると、必ずしも一直線に南北になっている訳ではない。A区は「北」よりも「緑」がよいのではないか。橋本は北かもしれないが、津久井は西とも言ってしまう。「中央区」と「中区」の合計は1万8千と大多数であり圧倒的。C区の「南区」も圧倒的に多い。もう一つ蛇足になるが、桜はスマート

かもしれないが、全国どこにでも咲いている。B区は、相模原市の中央部であり、「中央区」とする方がよい。

- 意向調査の応募数を踏まえて、A区は足しあげると、「緑区」が1番多い。環境共生などのイメージもある。B区についても、「中央区」と「中区」を足すと、「さくら」と「桜」よりも多く、「中央」というイメージも優先したいということ、C区の「南区」は圧倒的に応募数が多いということですね。
- この審議会の雰囲気としては、B区、C区はまとまりそうな感じがする。問題はA区だと思う。その辺の議論を深めたい。
- 「緑区」への反対者はいないのでは。
- 「緑区」への反対はないが、「北区」を主張される方がいる。
- △ 「北区」は嫌だという意見をどう考えるか。
- 他の政令指定都市でも使っており、違和感はない。
- △ 「北区」、「中央区」、「南区」ではどこにでもありすぎて相模原市とわからない。「北区」としかいいようがないならよいが。
- 政令指定都市になったときの区のイメージを大切にしたい。A区は、「緑区」にすべき。
- A区について「緑区」、「北区」というご意見がある。他の委員の意見はどうか。
- 地域協議会では「北区」の意見だったが、「緑区」と「みどり区」を足すと、「北区」より多くなる。「緑区」も区の特徴を表した立派な名称だと思う。
- C区が方位なら、A区も方位がいいと思う。A区は「北区」とも「西区」とも言える。方位という点では、西と北は同じ意味だと思う。

- さきほど採決をしないという意見があったが、歩み寄れないということであれば、採決を行うか、今日決めないかということになる。
- 本日中に決めなければならないのか。
- 事務局に確認する。
- 今後のスケジュールを考える上では、本日中の結論を必ず得なければならないというものではないが、もう一度審議ということなら、その間に何かの作業を行ってから決めるというようなことがないと、また同じ議論になってしまうと考える。
- 次回に持ち越す場合、次回までにどのような変化があるか次第ですね。多数決を採るのか、歩み寄るのか、次回にするのかの選択になる。
- 「緑区」、「中央区」、「南区」か「北区」、「中央区」、「南区」の2択で諮るのがよいのではないかと。
- この場で時間をかけてでも決めるべきと考える。
- A区だけ採決をしてはどうか。
- B区、C区についても複数の意見をいただいている。
- B区、C区は意見がないという判断でよいのでは。
- 「光区」についても最後に意見をいただいている。採決をするなら、すべての区について行うべきというのが会長としての考えである。
- C区の「光区」は理由付けが難しく、上に上げがたいということではないのか。
- C区の「光区」は、上位まで上げる理由が難しいと考える。
- 私も「光区」は、理由付けがないと考える。

- 「緑区」、「桜区」、「南区」ではバランスが悪いため、「光区」を支持する。
- 「中区」ではなく、「中央区」を採用する場合には、方位だけのとらえではない、中央の意味合いから、バランスにこだわる必要はないと思う。
- 採決を行うのであれば、3区とも行うことが妥当と考える。
- 今日決めるとすれば、採決しかない。
- やむを得ない気もするが、できれば採決はしたくない。
- 私も採決はしたくない。
- 決め方について具体的な提案はあるか。
- A区をどうするのかの話。A区だけ「北区」か「緑区」かの採決を行うことはどうか。
- A区だけ採決して、B区、C区は採決しないという意見ですね。
- △ つまり、「北区」、「中央区」、「南区」と「緑区」、「中央区」、「南区」に絞って採決を行うということですね。
- B区、C区において他の意見もあったため、採決を行うのであれば、B区、C区も行うべきである。
- 委員の採決で決めてしまうということについて、どういう影響があるかわからないが、意向調査に応募いただいた方の思いが気になる。
- 会長としては、A区だけの採決はしがたい。
- 「緑区」「中央区」「南区」にするか、「北区」「中央」「南」にするかということであればよい。
- その際には「桜区」や「光区」を支持する人の歩み寄りが必要になる。

- B区、C区は、ほぼ他の区名への支持がないのではないかと。
- 会長としてできるだけ中立な立場で判断しようとしている。A区の「北区」と「緑区」、B区の「桜区」と「中央区」、C区にも「光区」に支持がある。比率はそれほど変わらないと考える。会長としてA区だけの採決はしがたい。
- △ 全員一致で決めるとすれば、これまでの議論を踏まると、最大公約数でいえば、「緑区」、「中央区」、「南区」ではないか。これで合意できないなら採決しかないのでは。
- できるだけ客観的にみて、現在の意見の割合をみると、副会長が述べたように「緑区」、「中央区」、「南区」が有力と思われる。これ自体にも異議があれば何うものだが、これに合意ができるのであれば合意をさせていただいて決定する。合意できなければ採決ということになる。
- A区の「緑区」にはこだわりたいが、なんらかの譲歩をしていかなければ合意では決まらない。B区については「中央区」への譲歩もありうる。
- A区は、「北区」か「緑区」、B区は「中央」か「桜」C区は「南区」か「光区」。この組み合わせで採決を考えていくことはどうか。
- 単純な組み合わせでは数が多くなってしまう。副会長の意見や今の意見の配置ででいうと、「緑区」、「中央区」、「南区」で合意を得られるかということであるが、それには反対ということですね。
- そのとおり
- 皆様のご意見を伺うと、2つの案ではないか。意向調査の結果そのままなら「北区」、「中央区」、「南区」。もうひとつは、「緑区」、「中央区」、「南区」。これらは意向調査での数字から説明がつく案である。
- 意向調査の数は尊重するものであるが、審議会として必ず数に従うものではないと確認されているため、そのような考え方で候補で採決を行うべきではない。

- 審議会として、意向調査の数字をみて、きちんと理由付けができればよい。
- 会長、副会長の立場から、皆さんの意見の配置を拝見すると、おおむね「緑区」、「中央区」、「南区」が大勢を占めているのが率直な感想である。それについて、他の候補について強く主張されるのであれば、採決を採るか、次回に延期することになる。
再度確認する。B区はあくまでも「桜」というご意見がある。このため、全会一致は無理と判断する。
採決で決定するか、次回に延期するかについての採決を取ってよいか。
- 多数決を行うことに賛成。
- 採決を行うかについての採決を行う。
今日中に採決を行い決定することに賛成の方は挙手を。
《賛成10 反対4》（会長、副会長は加わらず）
- 賛成多数と認め、採決を行うこととする。
これまでの議論を踏まえて、
A区については、「北区」、「緑区」からの選択、
B区については、「中央区」、「桜区」からの選択、
C区については、「南区」、「光区」から選択
出席委員と副会長が意思を表明
可否同数の場合のみ、会長が意思を表明
口頭で意思表示する形で行う。
最後に、審議会として決定する根拠を確認する。
とすることでご異議ないか。

委員一同 異議なし

- 異議なしと認め、採決を開始する。

<各委員から意思表示>
- 集計結果について事務局から報告いただきたい。

- 結果を報告する。

A区 北区 7 緑区 9
B区 中央区 1 2 桜区 4
C区 南区 1 3 光区 3

- それではこの審議会でも議論を尽くした総意として、A区については「緑区」、B区については「中央区」、C区については「南区」とすることでご異議ないか。

委員一同 異議なし

- それでは、この区名で答申を行うこととする。
また、これまでの議論からこのように決定する根拠を確認する。
意向調査の結果を最大限尊重する観点からの理由として、
A区については、「緑区」と「みどり区」の応募数を合わせた数が「北区」の応募数を上回った。
B区については、「さくら区」と「桜区」の応募数の合算では、「中央区」を上回るが、同じイメージである「中央区」と「中区」の応募数の合算には及ばなかった。
C区の「南区」については、圧倒的な支持があった。
このような根拠をもって決することとしてご異議ないか。

委員一同 異議なし

- 異議なしと認め、そのように決した。
次にこの区名の答申書について確認をする。案について事務局から説明をお願いします。

- (資料3に基づいて説明)

- 事務局の説明について、質問、意見等はあるか。

委員一同 なし

□ それでは、この案で答申することでご異議ないか。

委員一同 異議なし

□ 異議なしと認め、そのように答申書をまとめることとする。この答申書の提出については、第5回の審議会で確認いただいたとおり、審議会を代表して、私が市長に答申させていただくのでご承知いただきたい。現状では2月4日に答申を行うことを考えている。答申後、答申書の写しをお届けする。

以上で議論すべき議題は終了した。

4 その他

5 閉会

相模原市行政区画等審議会委員名簿

平成20年10月14日現在(五十音順)

氏名	所属団体等	第7回出席
荒井 正次	相模湖町地域協議会会長	出席
◎ 牛山 久仁彦	明治大学政治経済学部教授	出席
梅澤 カツ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら理事	出席
河口 哲也	郵便事業株式会社相模原支店総務課長	出席
河本 洋次	相模原商工会議所会頭	出席
菊地原 一朗	城山町地域協議会会長	欠席
桐生 迪介	相模原市医師会副会長	欠席
小池 重憲	相模原青年会議所専務理事	出席
小嶋 省二	津久井町地域協議会会長	出席
篠崎 脩一	相模原市公立小中学校長会副会長	出席
志村 忠光	公募委員	出席
首藤 智美	公募委員	出席
代田 昭	相模原市自治会連合会監事	欠席
○ 武田 真一郎	成蹊大学法科大学院教授	出席
田所 昌訓	相模原市自治会連合会副会長	出席
千葉 東一	相模原地域連合議長	欠席
常盤 一夫	神奈川県警察本部警務課企画室長	欠席
中道 重幸	藤野町地域協議会会長	出席
根岸 清	相模原市農業協同組合代表理事組合長	欠席
藤井 邦彦	神奈川県総務部市町村課長	出席
細谷 昇	相模原市自治会連合会会長	出席
村上 洋二	公募委員	出席
吉本 一夫	相模原市社会福祉協議会会長	出席

◎ : 会長 ○ : 副会長